

介護スタッフと連携して歯科活動を行った一症例

須磨区・きたすま歯科 柴田 麻紀（歯科医師）

【はじめに】

高齢化が進み、歯科にかかりたくても一人で通院することが難しい方の数は、確実に増えていきます。歯科だけでは十分な対応ができないケースが増えてくることも確実です。

【事例紹介】

N様 92歳 女性 要介護1 独居

10年前から当院に通院されておられます。毎回一人できつちりと来院されますが、近年、治療したことに対する記憶が難しくなってこれ、電話での問い合わせがたびたび起こるようになりました。次第に治療時、不安な様子を見せられるようになり、義歯紛失もありました。今までとは違う対応の必要性を感じ、①安心して治療を受けて頂ける環境作り②治療内容を覚えておいて頂く方法③義歯の管理方法—これらを中心に、どのような形でサポートさせて頂くのが良いかを担当のケアマネージャーと相談させて頂き、連携、実行した結果、円滑に治療を進めることができた事例を報告します。